

令和 6 年 7 月 8 日

長野県知事 様

## 令和 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

|                             |   |  |
|-----------------------------|---|--|
| 協定期間                        | 令和 5年度から令和 7年度  |  |
| 会社名                         | 竹花工業株式会社  |  |
| 住所                          | 〒384-0012<br>長野県小諸市南町二丁目6番10号   |  |
| 代表者名                        | 代表取締役 唐澤 正幸   |  |
| 業種                          | 製造業 ・ 建設業   |  |
| 処理施設<br>所在地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名   | 所在地  |
|                             | 中沢川プラント   | 小諸市大字菱平字東丸山38-1  |
|                             | 駒ヶ根プラント   | 駒ヶ根市中沢3242、3243  |
| 担当部署                        | 総務経理部   |  |
| 担当者名                        | 小宮山 剛   |  |
| 連絡先                         | TEL   | 0267-22-1750   |
|                             | FAX   | 0267-23-3969   |
|                             | 電子メールアドレス   | <a href="mailto:komivst@takehanakogyo.co.jp">komivst@takehanakogyo.co.jp</a> |
| ホームページアドレス                  | <a href="http://www.takehanakogyo.co.jp">http://www.takehanakogyo.co.jp</a> |  |

## 1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の発生抑制のため、各現場において毎月排出量の数値を把握し、分別の徹底により、廃棄物の削減とリサイクルの推進を図る。

また、エコアクションの取組と共に、産業廃棄物の排出状況や現場での取り組み内容についてホームページに掲載し、情報の公開を行う事で社会から信頼されるよう努める。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                      | R6 年度目標値  | R5 年度実績値  | R4 年度実績値  | R3 年度実績値  |
|--------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総排出量の推移<br>(t) kg・m <sup>3</sup> )   | 3,500     | 3,535     | 5,018     | 4,414     |
| リサイクル量の推移<br>(t) kg・m <sup>3</sup> ) | 3,000     | 2,942     | 4,291     | 3,821     |
| 売上高の推移<br>(千円)                       | 3,500,000 | 3,603,670 | 4,151,567 | 3,835,980 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

建設現場においては、廃棄物の分別、表示の徹底を図り、リサイクル化の促進を図る。また、建設廃材の再利用についても、残コンクリートのブロック化、木くず等のチップ化などを行う。

生コン工場では、プラント等で発生する、洗浄水、残渣などを利用した、IWA システムと流動化処理土の運用に伴うリサイクル化の推進を図る。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値       | 過年度実績値       |              |              |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|          | 令和6年度<br>目標値 | 令和5年度<br>実績値 | 令和4年度<br>実績値 | 令和3年度<br>実績値 |
| 再生合材     | 99.0         | 99.0         | 99.0         | 99.0         |
| 再生砕石     | 85.0         | 84.0         | 82.0         | 82.0         |
|          |              |              |              |              |
|          |              |              |              |              |
| 全体       | 92.0         | 91.5         | 90.5         | 90.5         |